

Daily Market Report

ナフサ C&F JAPAN 評価値(ドル/MT)

C&F JAPAN 評価値

6月前半着	1,083.75	(3.75)
6月後半着	1,076.75	(3.75)
7月前半着	1,071.75	(3.75)
7月後半着	1,068.25	(3.75)
8月前半着	1,065.25	(3.75)

OPEN SPEC NAPHTHA スポット取引プレミアム評価

(千葉到着ベース)	COUNT30日前	COUNT45日前
5月後半着	+14.50	+8.50
6月前半着	+11.75	+7.50
6月後半着	+8.00	+4.75
7月前半着	+5.75	+3.00

算出時の原油価格(ドル/bbl)

MONTH	JUN
WTI	112.78
BRENT	124.43

本日午前 10 時時点での理論上の計算値、()内は前営業日の評価値との比較

[マーケットコメント]

週末 22 日はグッドフライデーに伴う休日のため休場。

ナフサ MOF / 国産ナフサ価格予想値および評価値

	ナフサMOF価格				国産ナフサ価格	
	ドル/MT	ドル/円	円/KL	速・確報値/(前日比) 円/KL	予想値/評価値 円/KL	速報値/(前日比) 円/KL
10-Oct	700.07	83.42	40,587	40,712		
10-Nov	747.36	81.39	42,273	42,222		
10-Dec	796.85	83.61	46,305	46,634		
10-4Q			43,079	43,101	45,100	45,100
11-Jan	857.45	82.91	49,410	49,202		
11-Feb	882.61	82.33	50,505	50,204		
11-Mar	891.37	82.49	51,101	(±0)		
11-1Q			50,120		52,100	(±0)
11-Apr	983.43	82.45	56,352	(1)		
11-May	1,046.07	82.18	59,746	(353)		
11-Jun	1,078.76	82.19	61,623	(494)		
11-2Q			59,240		61,200	(200)
11-Jul	1,076.95	82.21	61,530	(521)		
11-Aug	1,073.24	82.22	61,331	(520)		
11-Sep	1,070.58	82.24	61,193	(519)		
11-3Q			61,351		63,400	(600)
11-Oct	1,068.50	82.27	61,092	(519)		
11-Nov	1,066.57	82.29	61,002	(520)		
11-Dec	1,064.77	82.32	60,920	(519)		
11-4Q			61,005		63,000	(500)
12-Jan	1,062.79	82.36	60,833	(518)		
12-Feb	1,060.36	82.39	60,720	(516)		
12-Mar	1,057.42	82.43	60,580	(514)		
12-1Q			60,711		62,700	(500)

予想値は太字での表記、MOF(国産)価格の評価値は予想値ではなく本日午前 10 時時点での理論上の計算値(前日比)は前営業日の予想値および評価値との比較、換算比重は 0.695、為替レートは実勢為替相場に基づいた通関レートおよび為替先物マーケットから算出

[ナフサ MOF/国産ナフサ価格予想値および評価値コメント、マーケットコメント]

本日午前 10 時時点の 11 年 1Q 国産ナフサ予想値は 5 万 2100 円と予想値に変更はない。本日のナフサ C&F JAPAN 評価値は上昇することが想定されるうえ、為替通関レートが円安に振れたこともあり、MOF 評価値は軒並み上昇が見込まれる。11 年 2Q 国産ナフサは前営業日比 200 円高の 6 万 1200 円の評価。

11年1Q国産ナフサ予想値および評価値(円/KL)



11年2Q国産ナフサ予想値および評価値(円/KL)



太線は弊社予想値および評価値の推移、細線はナフサ C&F JAPAN に為替および比重(0.695)を乗じた数値の推移

Daily Market Report

原油・石油製品相場(前営業日)

Crude Oil(ドル/bbl)

		close	chg
NYMEX / WTI	JUN	112.29	-
	JUL	112.75	-
ICE / BRENT	JUN	123.99	-
	JUL	123.63	-

Oil Products(セント/gal) (ドル/MT)

		close	chg
NYMEX / RBOB	MAY	330.86	-
NYMEX / Heating Oil	MAY	319.92	-
ICE / Gas OIL	MAY	1,014.00	-

マーケットコメント

週末 22 日の原油相場は、ロンドン市場、NY 市場ともにグッドフライデーのため休場。

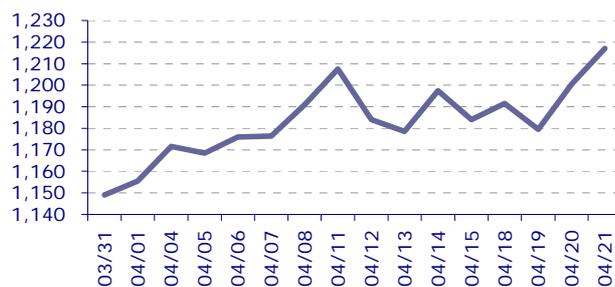
トピックス

「前週のベンゼンマーケットレビュー」

前週のアジアのベンゼンマーケットは、FOB KOREA1200 ドルを上抜き強含みの展開。他の芳香族は、トルエンは 1130 ドルを挟んでの揉み合いから、週後半には原油高に連れて上放れている。一方のパラキシレン(PX)は、軟調地合い継続から一時 1570 ドルを割り込む場面も見られたが、週後半には他の芳香族同様に急速に値を戻し、1600 ドル台を回復している。中国のポリエステルの生産が回復しつつあるが、依然として高純度テレフタル酸(PTA)が供給過剰気味であり、原料 PX に対する引き合いは低調である。また、韓国の S オイルが来月に増設した PX プラントを稼働させる予定であり、PX 需給は一段と緩むとの見方から売りが先行した。4 月上旬の安値付近まで下落したが、その後は川上の原油相場の上昇を受け、売り一巡から急速に値を戻す動きとなっている。

アジアのベンゼン市況は、決め手材料難から方向性乏しく、前々週の揉み合いを継続する格好で始まった。中国政府が、インフレ抑制に向け利上げを実施したことで、需要が減少するとの見方から誘導品のカプロラクタム(CPL)市況が下落し、原料ベンゼンに対する引き合い低下が懸念され値抑制要因となった。一方で、主要誘導品であるスチレンモノマー(SM)が堅調に推移したことが下値を支えた。シェルとBASFの合併であるシンガポールのエルバ・イースタンが前月 22 日から能力 55 万トン/年のプラントの稼働を中断していることに加え、イランのパルス石化も 60 万トン/年のプラントを今月 10 日に稼働中断した。域内のプラントが定修入りしていることもあり、供給減少見通しからの買いに支えられ、SM 市況が 1450 ドル水準で小確りとした動きとなったことは、ベンゼン市況にとってサポート要因となった。誘導品サイドの強弱材料により、決め手を欠く格好となり、週前半は揉み合いを継続した。週後半に入ると、川上の原油相場が戻り歩調となったことを眺め、先高観からの買いが入り 1200 ドルを上抜き、2 月下旬以来の高値水準へと値位置を切り上げている。トレンドを形成し得るだけの需給ファンダメンタルズ面からの決め手材料は乏しく、目先は原油相場次第の展開が見込まれる。なお、対ナフサとのスプレッドは、引き続き 150 ドルを割り込んでいる。ナフサとの相対比較からは割安感がある。

Benzene FOB KOREA(ドル/MT)



「2月のナイロン輸入単価、安値トップ10」

2011年2月の汎用エンブラのナイロン輸入実績は次のとおり。輸入数量は前月比1059トン減の7422トン、輸入価額は24億1526万6000円となった。原産地別輸入数量の割合は、台湾が19%、ドイツが14%、米国が13%、シンガポールが12%、マレーシアが12%となっている。価額を数量で割り返した2月の輸入単価(CIF JAPAN)の計算値は、前月比1円安の325円/kg。貿易統計上のナイロン樹脂は、用途での区別は出来ないが、税関別や国別に分けることで汎用性の高いグレードの輸入単価が概ね予想可能となる。貿易統計値およびそれを基に算出した単価の安値トップ10は、右表のとおり。なお、2月の通関レートは、1ドル=81.76~83.42円、日数による加重平均値は、1ドル=82.33円。

税関	国名	2011年2月		CIF JAPAN	
		数量 (kg)	価額 (1000円)	単価 (円/kg)	単価 (ドル/MT)
宇都宮	ドイツ	813,800	176,315	217	2,597 - 2,650
宇都宮	米国	390,600	85,288	218	2,617 - 2,671
敦賀	米国	222,082	51,725	233	2,792 - 2,849
横浜	米国	31,300	7,521	240	2,880 - 2,939
門司	シンガポール	396,000	100,111	253	3,031 - 3,092
宇都宮	シンガポール	288,999	73,628	255	3,054 - 3,116
名古屋	アルゼンチン	360,518	94,322	262	3,136 - 3,200
博多	マレーシア	60,000	15,900	265	3,177 - 3,241
門司	台湾	255,000	67,629	265	3,179 - 3,244
神戸	ベルギー	140,400	37,486	267	3,201 - 3,266

(出所:財務省)

「エチレン-酢酸ビニル系共重合体エマルジョン値上げへ = 住友化学」

住友化学は22日、エチレン-酢酸ビニル系共重合体エマルジョンに関して、価格改定を実施すべくユーザーとの交渉に入ることを明らかにした。価格改定幅はプラス15円/kgで、改定時期は5月9日出荷分より。エチレン-酢酸ビニル系共重合体エマルジョンについては、ナフサ価格の上昇に伴い主原料である酢ビモノマー、エチレン等の価格高騰により、製造コストの合理化等の自助努力にもかかわらず採算が悪化している。また、PVA等の副原料、ユーティリティ、包装材料等のコストも高水準で推移しており、事業継続および安定供給の責務を果たすためにも、価格改定が急務であると判断した。

Daily Market Report

「化学触媒事業を譲渡 = BASF ジャパン」

BASF ジャパンは22日、化学触媒事業を5月1日付けでエヌ・イーケムキャットに譲渡することを決定し、両社の間で譲渡契約を締結したことを明らかにした。この譲渡により、日本における BASF のすべての化学触媒事業はエヌ・イーケムキャットに統合される。エヌ・イーケムキャットは、BASF グループの BASF キャタリストアジアビービーと住友金属鉱山の折半出資からなる国内最大級の貴金属の化学加工メーカーで、エネルギー、自動車、石油化学、ファインケミカル、医薬品、公害防止などさまざまな分野で活用される触媒を開発および製造している。

「3月のエチレン生産、2ヶ月連続で前年同月比プラス = 石油化学工業協会」

石油化学工業協会が発表した月次統計によると、3月のエチレン生産実績は前月比8万1800トン減の51万4800トンとなった。前年同月比は0.1%増と2ヶ月連続で前年実績を上回った。定修要因等が前年同月比7.9%増となったが、稼働率変動が同7.8%減となったことが相殺。稼働プラントの稼働率は88.9%、定修プラント1社1工場。稼働率は好調の目安である90%台を2ヶ月ぶりに割り込んだ。

また、同日発表した3月の汎用4樹脂需給実績によると、生産は前月に比べ稼働日数は増加したが、震災により一時停止したプラントがあるほか、定修規模の増加もあり4樹脂揃ってマイナスとなった。前年比では、稼働要因と震災の影響からLDPE、PP、PSがマイナスとなった。HDPEは主に稼働要因からプラス。国内出荷に関しては、前月比では営業日数の増加と期末月が重なったこともあり4樹脂揃ってプラスに。前年比では、川下産業の操業への震災の影響もあり、LDPE、HDPEは主にフィルム分野、PPは主に射出成形分野での出荷が減少し、3樹脂でマイナスとなった。PSは包装分野等での出荷増によりプラスに。輸出に関しては、前月比ではアジア地域の需給バランスがタイトな状況が続いていることから、LDPE、HDPE、PPはプラス。前年比では好調な輸出が続くPPのほかLDPEもプラスに。HDPE、PSは前年水準が高かったこともありマイナス。在庫はLDPE、HDPE、PP、PSの4樹脂で減少。在庫率は、LDPE、PPは前月並み、HDPE、PSはやや上昇した。在庫水準としては、LDPE、HDPE、PSは略適正、PPはやや高めとなっている。

(単位:1000トン)

	LDPE					HDPE				
	生産	国内出荷	輸出	出荷合計	月末在庫	生産	国内出荷	輸出	出荷合計	月末在庫
Oct-10	151.7	121.0	20.2	141.2	337.1	85.2	72.1	10.7	82.7	187.6
Nov-10	142.6	128.6	24.0	152.6	325.7	83.7	74.8	12.3	87.1	182.7
Dec-10	158.3	119.1	24.3	143.5	340.8	91.0	71.3	14.8	86.1	186.3
Jan-11	155.5	126.4	17.1	143.4	354.0	85.6	74.0	10.4	84.4	187.2
Feb-11	141.9	114.2	20.6	134.8	357.7	83.9	67.7	8.8	76.4	192.6
Mar-11	119.7	120.4	22.4	142.7	335.2	81.2	72.3	9.8	82.1	188.7
	PP					PS				
	生産	国内出荷	輸出	出荷合計	月末在庫	生産	国内出荷	輸出	出荷合計	月末在庫
Oct-10	238.0	194.9	18.8	213.7	618.4	57.0	56.3	2.4	58.7	75.3
Nov-10	249.4	217.9	22.0	239.9	636.2	51.8	61.4	1.8	63.2	63.9
Dec-10	244.1	213.9	32.1	245.9	635.0	60.0	59.7	1.0	60.8	63.2
Jan-11	245.5	201.0	24.7	225.6	658.1	66.2	54.4	1.8	56.3	73.1
Feb-11	246.5	201.1	24.4	225.5	679.1	63.7	57.4	2.2	59.6	77.2
Mar-11	186.1	209.0	39.4	248.4	620.0	55.7	62.1	1.5	63.6	69.3

(出所:石油化学工業協会)